

# 都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



## 【目次】

- ・ 第 13 回 ACUUS 国際会議 (2012ACUUS イン・シンガポール) P 1
- ・ 平成 24 年度調査研究報告会、講演会及び意見交換会を開催 P 4
- ・ 機構の活動状況 P 6

## § 第 13 回 ACUUS 国際会議 (2012ACUUS イン・シンガポール)

11月7日から9日まで、シンガポールで第13回 ACUUS 国際会議と定時総会が開催されました。ACUUSとは Associated Research Centers For the Urban Underground Space の略称で、都市地下空間に関する調査機関の国際的な非政府組織です。都市地下空間活用研究会(地下研)も ACUUS の会員となっています。ACUUS の重要な活動として2～3年に一度、地下利用に関する様々な専門家が参加し、研究を発表しあう国際会議を開催しています。今回は、シンガポールのマリーナ・ベイ・サンズのコンベンション・センターで約300人の関係者が集まり、開催されました。日本からも地下研の会員を中心に多数の方々が参加されました。以下にその概要をご紹介します。



(参加メンバー集合写真)

### 1. 研究発表

今回は、26か国から159の研究論文が提出され、3日間にわたり発表・討論が行われました。日本の地下研関係者の研究発表の状況は次のとおりでした(敬称略)。



1	大阪の梅田地下モールのケースで既存の地下輸送ノードを改善する処置に関する基礎研究 BASIC RESEARCH CONCERNING MEASURES FOR IMPROVING EXISTING UNDERGROUND TRANSPORTATION NODES WITH THE CASE OF UMEDA UNDERGROUND MALL IN OSAKA	有田 昌義 (大阪ガス)
2	東京駅周辺地区における地下歩行空間浸水予測の検討 STUDY OF POTENTIAL FLOODING OF UNDERGROUND PEDESTRIAN SPACE IN THE AREA AROUND TOKYO STATION	水口 雅晴 (三菱地所)
3	これからの地下ネットワークのあり方の検討 STUDY OF IDEAL DEVELOPMENT AND MANAGEMENT OF UNDERGROUND NETWORKS (ROLE SHARING BETWEEN PUBLIC AND PRIVATE SECTORS)	白根 哲也 (三菱地所)
4	建設要因の研究と日本の新しく造られた地下 AEC HITECTURE のスケール A STUDY OF THE CONSTRUCTION FACTOR AND IT'S SCALE OF NEWLY BUILT UNDERGROUND AEC HITECTURE IN JAPAN	奥山 健二 (福山市立大学)
5	既存の地下広場を改善するための人間の行動観察と歩行者流動シミュレーション HUMAN BEHAVIOR OBSERVATION AND PEDESTRIAN FLOW SIMULATION FOR IMPROVING AN EXISTING UNDERGROUND PLAZA	大西 道隆 (大阪ガス)
6	日本における地下空間ネットワークの形成について A STUDY ON THE FORMATION OF UNDERGROUND NETWORKS IN JAPAN	中村 英夫 (国土交通省)
7	八重洲・京橋・日本橋地区における都市再生のための歩行者ネットワークの研究 STUDY OF A PEDESTRIAN NETWORK FOR URBAN RENEWAL IN THE YAESU-KYOBASHI-NIHONBASHI DISTRICT	横塚 雅実 (鹿島建設)
8	東京駅丸の内地下歩行者専用道の設計・施工 DESIGN AND CONSTRUCTION OF UNDERGROUND PEDESTRIAN MARUNOUCHI SIDE OF TOKYO	草間 茂基 (三菱地所設計)
9	地下街整備の効果に関する調査研究 RESEARCH OF THE EFFECTS OF THE DEVELOPMENT OF AN UNDERGROUND SHOPPING MALL	西田 幸夫 (埼玉大学)

いずれのテーマについても、発表者からのプレゼンの後、活発な質疑討論が行われました。

## 2. 第12回 ACUUS 総会

11月9日の昼に、総会が行われました。現在、ACUUSは20の機関会員と4名の個人会員から構成されています。地下研は日本で唯一の機関会員です。総会では前回の深圳での総会以降の理事会議決事項等を承認するとともに次回 ACUUS 国際



(会員のプレゼンテーション)

会議を2014年に韓国で開催することを決定しました。また、黒川 洸先生に、ACUUSの初代フェロー（最近の定款改正で新設されたもので、ACUUSに特別な貢献のあった者に送られます）の称号を授与することが承認されました。また、日本からの ACUUS の理事が黒川 洸先生から岸井隆幸先生に交代したことが報告されました。



### 3. ACUUS コンファレンス・ディナー

8日の夕刻に会議参加者が一堂に集うコンファレンス・ディナーが開かれました。民族舞踊、クイズなどの楽しいアトラクションもさることながら、最大のイベントは、スターリング会長からの黒川洸先生へのACUUS初代フェローの称号授与の発表でした。残念ながら黒川先生は今回の会議は出席できませんでしたが、スクリーンに黒川洸先生の顔がクローズアップされるなか、黒川洸先生のフェロー受託のメッセージが朗読され、会場は大きな拍手に包まれました。



(コンファレンス・ディナー会場でスターリング会長、ベスナー事務局長と記念撮影)

### 4. シンガポール見聞記

以下は、初めてシンガポールを訪れた筆者のとりとめのない雑感です。読み流していただければ幸いです。

#### (アジアで一番豊かな国と日本)

シンガポールの1人当たりGDPは49271ドル(2011年)で、相当前から日本(45870ドル)を抜いてアジアで一番豊かな国になっています。街の様子を観察しても建築物や公共施設の整備の程度は日本と比べ全く見劣りしないどころか、日本より立派なものがたくさん目に着きます。しかし、現地の方にお聞きするとシンガポールでは何か重要な政策や事業を立案しようとするときは必ず日本の制度を勉強するそうです。例えば、ベイ・サンズ・ホテルを含むベイ・エリアは地域冷房を行っています。これは横浜の「みなとみらい地区」の地域冷暖房事業が事業モデルになっています。また、シンガポールの消費税は日本の消費税を研究したうえで日本に数年遅れて導入したそうです。他方、日本と異なる選択をしているところも当然のことながらたくさんあります。例えば、ベイ・サンズ・ホテルは2010年にオープンし、カジノを併設しています。これは、観光客目当ての経済振興策で、外国人は自由に出入りできますが、シンガポール人は約7000円の入場料を払わなければ入れません。シンガポール政府がアジアの富裕層をマカオに独占されることに危機感を持ったからだと言われていています。日本でも地域振興・観光振興の一策としてカジノ開設が幾度となく議論されてきましたが、結局、実現していません。

#### (近代都市に潜む風水)

シンガポールの街は風水の考え方が強く影響していると言われていています。例えば、会議場に隣接するマリーナ・ベイ・サンズ・ホテルは、一直線に並んだ3つのビルの上に船を載せたような奇抜な形をした建物で、最近日本のテレビでもよく登場します。現地の方にお聞きしたところ、当初のデザインでは3つのビルだけだったそうですが、これが墓の前に



(マリーナ・ベイ・サンズ・ホテル)



備えられる3本の線香を連想させ、縁起が悪いと評判がよくなかったため、風水の大家が3棟のビルの上に船を載せる案を出し採用されたとのこと。シンガポールの風水を尋ね歩く観光ツアーまであります。外見は近代的な国家ですが、その奥深いところは華僑の伝統文化が支えているということでしょうか。

#### (常夏の国の過剰冷房)

シンガポールは北緯1度に位置する、ほぼ赤道直下の常夏の国です。気温は、筆者が滞在した11月初旬も30度以上あり、むっとするような高湿度です。そのためホテルや会議場は冷房が効いており、だいたい23度前後に設定されています。これは東京の省エネ冷房になれた筆者にはなかなかきつい温度で、会議場に数十分いると手足や肩が寒くなり、急いでドアを開けてホテルのデッキにでて温まります。寒気を解消してまた会議場に戻るといようなことを会議期間中ずっとやっていました。帰りに立ち寄ったベトナムでもホテルの冷房は23度に設定してありましたので、これは東南アジア共通の習慣のようです。

## § 平成24年度調査研究報告会、講演会及び意見交換会を開催

恒例の当機構の調査研究報告会、講演会及び意見交換会を、今年度も11月22日(木)に都市計画会館およびルポール麹町で開催いたしました。

当日は44名の方々にご参加頂き、調査研究報告会では当機構が受託しています調査の概要の報告、並びにまち交大賞、土地活用モデル大賞の受賞プロジェクトを紹介させて頂きました。引き続き、講演会では国土交通省都市局まちづくり推進課



官民連携推進室長の佐藤様から、「まちづくりの最近の話題について」と題してご講演を頂きました。その後、会場を移しての意見交換会では、日頃よりご指導頂いております同省幹部の方々にも多数お集まり頂き、公民によるフリーな意見交換を頂きました。その概要について報告いたします。

### 1. 調査研究報告会

(1) 最初に、当機構理事長の田畑よりご挨拶を申し上げ、引き続き当機構専務理事の佐々木から、「平成23年度調査の全体概要」についてご報告させて頂きました。

#### ①受託調査を内容別に整理してご説明

◇土地活用◇地方都市再生◇大都市圏再生◇先導調査を縦軸に、課題・構想、基本計画、事業計画・事業管理、機能導入を横軸にしたマトリクス表により、受託調査を内容別に整理してご説明させて頂きました。

#### ②「平成23年度 受託調査概要」により、個別案件の概要をご紹介します

##### a. 国等



- ・都市・地域整備に係る基本問題調査、普天間基地跡地利用計画に関する調査、復興パターン概略検討（仙台市、岩沼市）
  - b. 地方公共団体
    - ・金町駅北口周辺地区活性化施策策定調査（葛飾区）、村岡・深沢地区拠点づくり検討調査（湘南地区整備連絡協議会）、海老名駅西口周辺まちづくり戦略検討（海老名市）、中心市街地における都市開発事業手法検討（岐阜市）、普天間飛行場跡地利用計画方針策定検討（沖縄県、宜野湾市）
  - c. 民間等
    - ・元麻布地区土地活用等推進基礎調査、中野駅周辺まちづくり事業アイデア募集、第一種市街地再開発事業に伴う特定業務代行者選定業務（京急蒲田西口駅前地区、大泉学園北口地区）
- (2) 次に、主な受託調査から下記4点を選んで、その詳細について、担当職員からご説明させて頂きました。

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| ①普天間飛行場跡地利用計画方針策定調査       | 開発調査部部長 高田 |
| ②エリアマネジメントによるまちづくり研究      | 開発調査部課長 秋田 |
| ③地中熱活用による低炭素なまちづくりについて    | 開発調査部課長 小山 |
| ④第7回まち交大賞受賞地区紹介           | 開発調査部次長 森田 |
| ⑤H24年度土地活用モデル大賞受賞プロジェクト紹介 | 企画調整部部長 田中 |
- ご関心のある案件がございましたら、遠慮なく担当者までご照会ください。

## 2. 講演会

佐藤室長から以下の内容に関してご講演を頂きました。

- ①「日本再生戦略」における都市再生等施策
- ②都市の低炭素化の促進に関する法律
- ③都市再生法の活用による官民連携のまちづくり  
(H23 法改正による道理占有許可の特例、民間協定等)
- ④都市再生法の活用による都市の安全の確保について  
(H24 法改正による都市再生安全確保計画制度の創設)
- ⑤中心市街地活性化について



## 3. 意見交換会

国土交通省の都市局並びに土地・建設産業局の多数の来賓の方々にお越し頂き、都市局・望月市街地整備課長の来賓のご挨拶を頂いた後に、参加者による活発な意見交換が行われました。





## § 機構の活動状況

日	11月	日	12月
7	環境省打合せ（自主研究：ヒートポンプ）	3	川崎アゼリア、ザ・ダイヤモンド（横浜）ヒアリング・現地視察、横浜市ヒアリング
16	国交省街路交通施設課打合せ	6	池袋東口地下街ヒアリング・現地視察
20	神戸地下街ヒアリング・現地視察	7	北海道大学（ヒートポンプ）打合せ
22	平成24年度調査研究発表会、講演会、意見交換会	7	札幌地下街（オーロラタウン・ポールタウン・アピア）ヒアリング・現地視察、札幌市
27	福岡新博多駅地下街現地視察、天神地下街ヒアリング・現地視察、福岡市ヒアリング	11	川崎市、豊島区ヒアリング
29	名古屋市ヒアリング、栄地下街ヒアリング・現地視察、名古屋地下街サンロード現地視察	12	大阪ダイヤモンド地下街、大阪地下街ヒアリング・現地視察
		13	大阪市ヒアリング、京都（ポルタ）ヒアリング・現地視察
		17	第8回まち交大賞募集

### 【機構関係諸団体】

#### 《都市地下空間活用研究会》

5	千代田区役所	3	川崎アゼリア・横浜ダイヤモンド地下街・横浜市ヒアリング
6~13	ACUUS2012 シンガポール国際会議	4	尾島研
14,15	地下利活用検討分科会名古屋SWG名古屋市ヒアリング	5	国交省・下水道課、ACUUS 報告会
20,21	神戸市、神戸地下街他	6	池袋 ISP、地下防災勉強会、定例懇話会
22	都市みらい推進機構調査研究報告会	7	札幌地下街（オーロラタウン・ポールタウン・アピア）ヒアリング
27	福岡市、天神地下街他	10	広島 SWG
30	大丸有踏査	11	川崎市ヒアリング
		12	大阪ダイヤモンド地下街、大阪地下街ヒアリング
		13	大阪市・京都ポルタヒアリング、名古屋 SWG
		14	御池地下街
		20	八重洲 WG

#### 《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

5~11	第19回交流展示会		
6	第24回技術研究発表会		
27	第6回低炭素都市づくり研究会		

#### 《まちづくり情報交流協議会》

8	メールマガジン第12号配信	5	国交省打合せ
12	メールマガジン第13号配信		第4回企画運営委員会
		7	メールマガジン第14号配信
		11	第5回企画運営委員会
		17	第8回まち交大賞募集

### （一財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6  
 プラザ江戸川橋ビル201号  
 電話 03-5261-5625  
 FAX 03-5261-5629  
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい  
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他